

市役所等公共施設整備 基本計画説明会



まちづくり、
まずは笑顔で
こんにちは

長久手市 総務部 財政課

平成28年11月27日 ¹

目次

1. 公共施設の現状
2. 市役所庁舎整備の必要性
3. 現敷地における建替え
4. 市役所に必要な機能
5. グループワーク

1. 公共施設の現状

公共施設の現状

2011年3月11日
東京九段会館天井崩落



2012年12月2日
中央道笹子トンネル事故



これらの事故をきっかけに、公共インフラの老朽化問題が注目され始めた。

公共施設の現状

長久手市の公共施設の現状

施設名	竣工年度	築年数	備考
市役所本庁舎	昭和42年	49年	H15年度耐震改修済
長久手小学校	昭和44年	47年	H31年度～大規模改修予定
市役所西庁舎	昭和49年	42年	H20年度耐震改修済
長久手中学校	昭和49年	42年	H28年度～大規模改修中
西小学校	昭和51年	40年	H34年度～大規模改修予定
消防庁舎	昭和57年	34年	
北小学校	昭和58年	33年	H29年度～増築工事予定
杣ヶ池体育館	昭和62年	29年	
中央図書館	平成4年	24年	
文化の家	平成9年	19年	H28, 29年度大規模改修中
福祉の家	平成14年	14年	再整備構想策定済

2. 市役所庁舎整備の必要性

災害による庁舎の損壊

東日本大震災や熊本地震発生により、庁舎、病院等重要な防災拠点が損壊し、応急対応に支障。



宮城県南三陸町防災対策庁舎



宮城県女川町役場



熊本県宇土市役所



熊本県益城町役場

○大規模災害発生時において初期対応から復旧、復興にわたって拠点となる市庁舎を安全性の高いものとする必要がある。

現在の市役所の竣工年次

本庁舎

昭和42年竣工(築49年経過、長久手市の
施設で一番古い施設)

平成16年耐震改修

昭和62年東側新館増築(築29年経過)

西庁舎

昭和49年竣工(築42年経過)

平成20年耐震改修

北庁舎

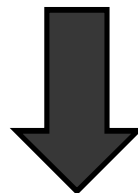
平成22年竣工

○市役所は、竣工後、約30年から50年を経過しており、安全性を高める意味でも再整備が必要。

3. 現敷地における建替え

現在の敷地における建替えについて

- 1 昭和42年、長久手村の時代からずっとここにあり、役所庁舎として広く認知されている。
- 2 現在ある機能を継続利用しながら新しい庁舎への移行ができる。
- 3 市街化調整区域には新規に庁舎建設ができないが既存区域は建設できる。

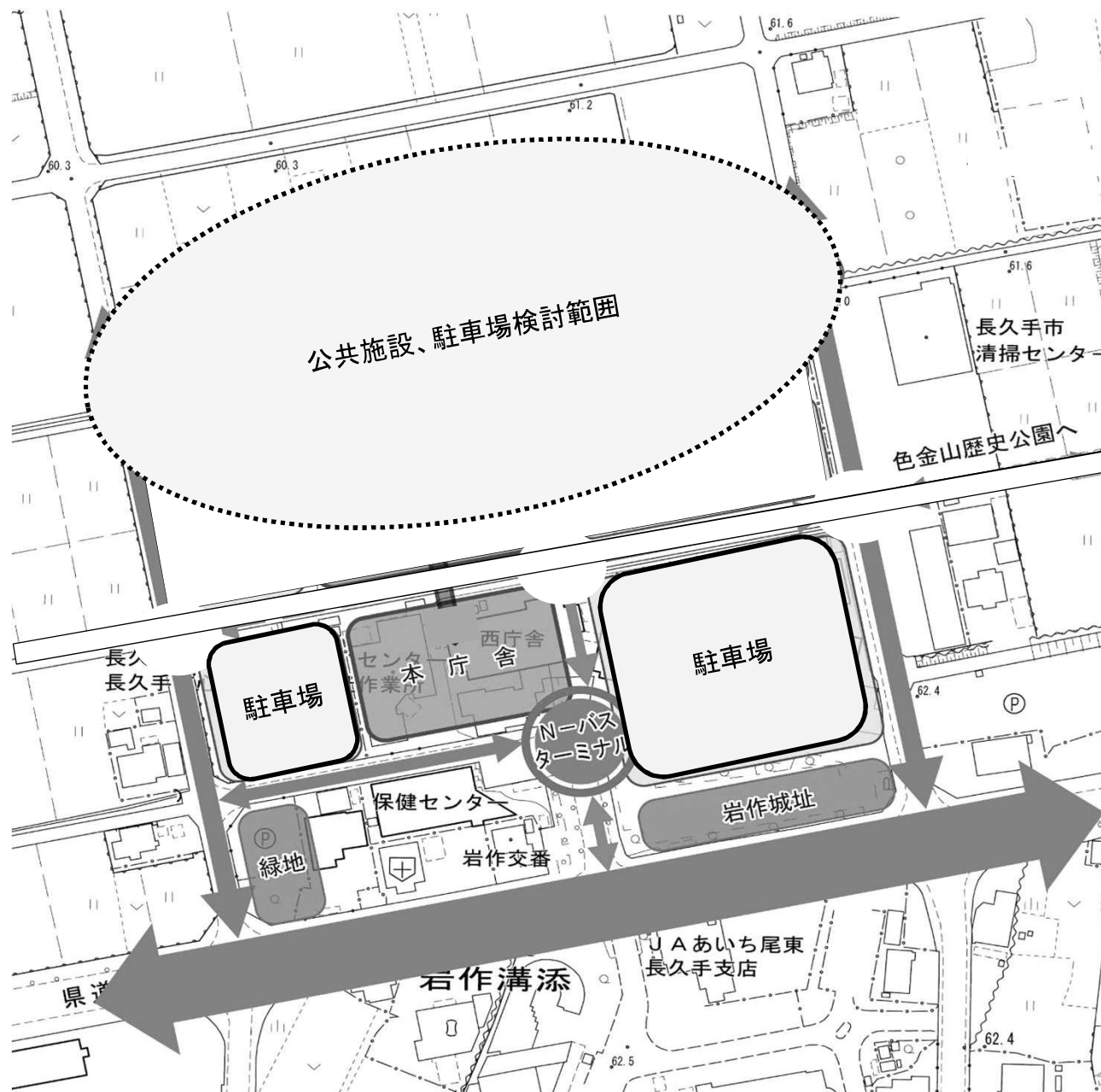


- 1 誰もが知っている場所にある。
- 2 引っ越し作業が比較的容易にできる。
- 3 新たに確保する土地が必要最低限となる。

4. 市役所に必要な機能

- ① **安心・安全の拠点としての庁舎
防災機能**
- ② **行政サービスが向上する庁舎
市民協働・活動、情報発信機能**
- ③ **誰もが利用しやすく、人にやさしい庁舎
ユニバーサルデザイン**
- ④ **環境に配慮した庁舎
環境配慮機能**

新庁舎のゾーニング(案)



ご清聴ありがとうございました。